



木は表面を焼き、磨くことで非常に長持ちします。木の持つ魅力を生かして自分だけのオリジナルプレートを作ってみませんか。

焼き杉

【説明】

杉板を焼き、木目を生かした加工や装飾ができます。オリジナルプレートを作る活動です。

【ねらい】

焼き杉の活動を通じて、自然素材の性質や加工について学ぶとともに、ものづくりの喜びを味わう。



炊飯場



1.5~2.0時間



50人程度



小学校4年生～



通年

指導あり
(要電話予約)

貸出できるもの

- ・まき
- ・火ばさみ
- ・竹ぼうき
- ・杉板
- ・点火器
- ・なた
- ・柄付きワイヤブラシ

団体に準備するもの

- ・新聞紙
- ・軍手
- ・マスク
- ・材料費 100円/1人 (※薪代は別)
- ・ゴミ袋 (汚れた新聞紙を捨てるため)

■■■■■活動の展開例■■■■■

①火おこし

②杉板焼き

③研磨

④仕上げ



活動上の留意点

- ・ 活動中の火傷やけがを防止し、安全に行えるよう、事前の説明や学習等を行ってください。
- ・ 杉板を持って移動する際は、常に周囲の安全を確認して行ってください。
- ・ 杉板の焼き加減はお好みです。焼失しない程度に焦げるまで焼いても大丈夫です。



○ 焼き杉は、プレートを作るまでのプログラムです。色付けや装飾は、各自が持ち帰ってから行ってください。

活動の流れ(例)

※ かまどで杉板を焼く事例です。

事前の説明	<ul style="list-style-type: none"> 事前に当施設で撮影したビデオを見ておくことで活動の様子が分かり、当日の活動が進めやすくなります。
1 火おこし	<ul style="list-style-type: none"> かまどにまきを組んで火をおこす。
2 杉板焼き	<ul style="list-style-type: none"> まきがしっかりと燃え出したら、杉板を火バサミではさんで火の中に入れる。 焼き過ぎないように、時々、杉板をひっくり返して全体に焼き目が付くように調整する（側面も忘れずに焼く）。 かまどの前に大人数いると危険なため、一度に2～3人ずつ行う。 消火用に砂を入れたトロ舟を準備しておく。 杉板が焼けたら、かまどから出し、トロ舟に入れ、砂をかけて火を消す。 砂の所（トロ舟）に移動させる際は、周りに人がいないことを確かめ火傷をしないように注意する。
3 研磨	<ul style="list-style-type: none"> 杉板の火が消えたら、新聞紙の上で柄付きワイヤブラシを使って、杉板の炭の部分をごすり落とす。 炭の粉がたくさん出るので、吸い込まないようにマスクを着用して作業を行う。また、目に入らないように注意する。 ごすり落とした炭は、周りに飛び散らないように注意し、灰捨て場に捨てる。または、新聞紙に包んでゴミ袋に入れ捨てる。
4 仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> 新聞紙を丸め、炭を落とした杉板の表面を磨く。 手で触ってみて、炭が付かないようになるまで磨いたら出来上がり。

装飾について

- ① 当施設で装飾まで行う場合は、その時間を確保する必要があります。その際に絵筆、水入れ、グルーガン（本体）については、野外活動センターのものを貸出可能ですが、装飾に係る画材等（アクリル絵の具、カラーテックス、ビーズ等）は、利用団体で用意してください。
- ② 絵を描く場合の画材にはアクリル絵の具やカラーテックが適しています。着色後、乾燥に時間がかかるので注意してください。

※ 装飾方法や道具の選定について、気になることがあれば当施設へご相談ください。

